



停車場通信



平成24年1月10日発行

厚別会館冬季避難訓練・宿泊体験会 参加者募集

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、多くの方が地震や津波により生活の拠点を失い、ライフラインの止まった中、避難所などにおいて不自由な生活を余儀なくされました。特に震災の発生直後は、3月という気象条件から、寒さに対する十分な備えがなければ、生命の危機に直結する事態もあったものと思われま

そこで、厚別中央地区まちづくり会議では、厳冬期に大地震が発生したという想定のもと、厚別会館に、暖房のない状態で宿泊し、まずは寒さを体感するとともに、個人としての備え、地域としての備えはなにが必要であるかについて今一度考える、「厚別会館冬季避難訓練・宿泊体験会」を実施します。この機会に、真冬に大地震が起きたときの危機感を味わってください。

日時 平成24年2月3日（金）17：00集合 4日（土）8：00解散

場所 厚別会館（厚別区厚別中央4条3丁目3-6）

プログラム

避難所開設シミュレーション、炊き出し訓練、大震災派遣報告、
防災ビデオ鑑賞 など

参加申込

厚別中央まちづくりセンター 山本（Tel 891-3907）へ

申込締切：平成24年1月25日（水）



厚別会館で実施します

※参加される方へ 宿泊時の注意

厚別会館の1階ホールに宿泊する。就寝時から起床時までは暖房、照明は一切使わない。参加者は各自寒さを凌げるだけの装備を持参すること。装備は電気、火気を使わないものであれば何でもよい（スキーウェア、寝袋、毛布、キャンプ用マット、段ボール等）。

※寒さに耐えられなくなったり、身体に変調を来した場合は、2階和室に移動する。

●厚別区役所から

新年あけましておめでとうございます 🎉



区民の皆さまには、日ごろから厚別区のまちづくりにご支援、ご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

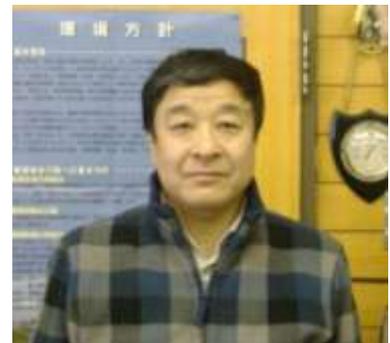
昨年より「にぎわいのある副都心」「近隣市町村との連携の推進」「地域と創る冬みち事業」について重点的に取り組みながら、「区民が主体のまちづくり」を進めてまいりました。

本年も、区職員一同、区民の皆さまのまちづくり活動をサポートし、皆さまと一緒に厚別区のまちづくりのために力を尽くしてまいりますので、引き続き変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

厚別区長 荒井 功

【厚別中央のひと④】 好きという一筋の思い

スポーツでもゲームでも、勝てば面白いし、面白ければ長続きして強くなる。逆に負けが続けば、「や～めた」となるのも人間の性でしょう。今回は、決して強くはなかったけれど、それでも「柔道が好き」という思いから、中学校の先生として、子どもたちに柔道の素晴らしさを伝え、60歳になった今もさらに新たな挑戦を続けている、三上 裕司さん（厚別中央4条）にお話を伺いました。



インタビュー

三) → 三上さん

イ) → インタビュアー厚別中央まちセン山本

イ) 大学から柔道を始められたと聞いて驚きました。きっかけは何だったのですか。

三) もともと私は運動オンのほうで、体格がなかったこともあり、スポーツは自分には向かないものと考えていました。ところが、高校の体育の時間に……よくいますよね、ちょっと柔道がうまくて、相手をばんばん投げて目立とうとする人が……そういう人と当たったのですが、私がうまく立ち回って相手に投げる隙を与えなかったのです。それを見ていた親友が、素質があるかもしれないので柔道をやってみたらどうかと言ってくれたのが心に残っていました。ほかの競技でほめられたこともあり、どんどんスポーツに対して前向きに考えることができるようになったのも大きいです。それから大学に入って、柔道部に入部しました。

イ) さすが親友！ナイスアシストですね。でも経験がない中で大学の柔道部というのはきつかったのではないですか。

三) まわりはみんな経験者で、体もでかかったです。それにひきかえ、私はまず受身からのスタート。初段を取るのに3年もかかりました。大会も、最善を尽くすものの、出ては負けの連続でした。でも、きついか、いやだとは思いませんでした。むしろ、それまでできなかったことがひとつひとつできるようになるにつれ、楽しく、充実した思いで、ますます柔道が好きになっていきました。あの充実感があったから、今日まで続いてきたと思います。

イ) そして大学を卒業して、中学校の先生になられたと。柔道とのかかわり方も変わったのでしょうか。

三) 自分が経験した柔道の楽しさを伝えたいと思い、部活動で柔道を教えようと思いました。ところに行く先々、柔道部のない学校ばかりで、一からの立ち上げです。そもそも畳がないものですから、砂場で寝技の練習をしたこともありました。体も柔道着も砂だらけです。そのうちに畳を提供してくださる方もいたりして、あちこちで皆さんのお世話になりながら続けていくことができました。アットホームな指導を心がけていましたが、部員が30名を超えた学校もありましたし、全国大会に出場した子どももいたり、指導者としては本当にやりがいがありました。

柔道の形かた（うしろじめ後絞）



イ) 現在はどのようなことを。

三) 部活動はやっていませんが、私自身は、今、「形（かた）」に取り組んでいます。柔道というと、乱取りを思い浮かべますが、形はいわばその基礎ともいうべきもので、技の掛け方、受け方の理屈を演武の形で学ぶものです。大会も開かれていて、9月の全道大会では優秀賞をいただきました。もう歳だし柔道着を着なくともいいのではと思ったこともあったのですが、逆に、やりたいことが出てきてしまいました。これからも形を極めていきたいです。

イ) 「若き日の情熱を今も持ち続け、新たなチャレンジとは素晴らしいことです。ところで、三上さんは青少年育成委員会の委員もされています。子どもたちに期待を込めてメッセージを。

三) 武道に限らず、本当に好きなスポーツは人に生きる力を与えてくれます。困難にぶつかっても簡単にあきらめることなく、一生懸命にがんばって乗り越えていく心と体を育ててくれると思っています。これからの人には、ぜひ、大好きなスポーツを見つけて、それに打ち込んでほしいです。そして生きていくうえでも、いつでも自分の夢を持って、それに向けて努力をし続けてほしいですね。もちろん全てがうまくいくとは限りません。何回やってもうまくいかなかったら軌道修正すればいいんです。そうやってがんばっていると、その夢を応援してくれる人が必ず出てくるはずですよ。夢、好きだという思いを大切に、「打ち込んで」ください。

周りが応援してくれたからこそここまでやっていくことができたこと、感謝の言葉を口にする三上さん。でも周りの方もまた、三上さんから力を分けてもらっていたのだと思います。これからも、柔道を通じて「好きなことに打ち込む」ことの素晴らしさを伝えてください。三上さん、ありがとうございました。

地区カレンダー (行事の詳細については、「広報さっぽろ」やホームページ、各団体のチラシをご覧ください)

 厚別区・札幌市などの動き	地区の動き
<p style="text-align: center;">1月</p> <p>4日 厚別区新年互礼会 (シェラトンホテル札幌)</p> <p>9日 厚別区新成人のつどい (シェラトンホテル札幌)</p> 	<p style="text-align: center;">1月</p> <p>29日 厚別中央地区カルタ大会 (厚別会館)</p> 
<p style="text-align: center;">2月</p> <p>4～5日 新さっぽろ冬まつり2012 (ふれあい広場あつべつ)</p> <p>5日 第32回札幌国際スキーマラソン (札幌ドーム周辺)</p> <p>6～12日 第63回さっぽろ雪まつり (大通公園・つどいむ・すすきの)</p> <p>17～19日 札幌モーターショー2012 (札幌ドーム)</p>	<p style="text-align: center;">2月</p> <p>3～4日 厚別会館冬季避難訓練・宿泊体験会 (厚別会館)</p> <p>13日 違法駐車パトロール(冬季) (厚別中央3条3丁目等)</p> <p>19日 厚別中央地区演芸大会(区民センター)</p> <p>29日 厚別中央地区スノーフェスティバル (ひばりが丘小前広場)</p> 

◆編集後記◆ (所長のつぶやき)

道産子に「ものすごく寒いのとドカ雪とどっちがいい?」ときいたら、「寒い方がまだまし」と答える方が多いのではないのでしょうか。それに加えて最近はずるずる路面という厄介者が発生、みんなを悩ませています。厳冬期は発生しないだろうと油断していたら、私もこの間転んでしまいました。皆さんもくれぐれもご注意を。まちセンでは、ペットボトルに入った砂をお配りしています。重いし、ちょっとカッコ悪いけど、安全第一。ぜひお持ちになって、まいてください。〈山本〉

～編集・発行～

厚別中央まちづくりセンター 厚別区厚別中央4条3丁目3-6

電話 011-891-3907 FAX 011-895-0149

厚別区役所ホームページURL <http://www.city.sapporo.jp/atsubetsu/>

札幌市役所ホームページURL <http://www.city.sapporo.jp/>



さっぽろ市
03-Q02-11-415
23-3-201